

スコアシート		実施設計段階								
配慮項目				環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										2.9
Q1 室内環境							0.40		-	3.4
1	音環境					3.0	0.15	1.9	1.00	1.9
	1.1 室内騒音レベル			—		1.0	0.50	1.0	0.50	
	1.2 遮音					5.0	0.50	2.8	0.50	
		1	開口部遮音性能	(共通)遮音等級:T-2		5.0	1.00	5.0	0.30	
		2	界壁遮音性能	—		-	-	3.0	0.30	
		3	界床遮音性能(軽量衝撃源)	—		-	-	1.0	0.20	
		4	界床遮音性能(重量衝撃源)	—		-	-	1.0	0.20	
	1.3 吸音			—		-	-	-	-	
2	温熱環境					1.0	0.35	5.0	1.00	4.6
	2.1 室温制御			—		1.0	0.50	5.0	1.00	
		1	室温	—		1.0	0.63	-	-	
		2	外皮性能	(専有部)全住戸ZEH-M Orientedの水準を満たす		1.0	0.38	5.0	1.00	
		3	ゾーン別制御性	—		-	-	-	-	
	2.2 湿度制御			—		1.0	0.20	-	-	
	2.3 空調方式			—		1.0	0.30	-	-	
3	光・視環境					1.7	0.25	2.7	1.00	2.6
	3.1 昼光利用			—		1.8	0.30	1.4	0.50	
		1	昼光率	—		1.0	0.60	1.0	0.50	
		2	方位別開口	—		-	-	1.0	0.30	
		3	昼光利用設備	—		3.0	0.40	3.0	0.20	
	3.2 グレア対策					1.0	0.30	4.0	0.50	
		1	昼光制御	(専有部)カーテン・バルコニーの組み合わせ		1.0	1.00	4.0	1.00	
	3.3 照度			—		1.0	0.15	-	-	
	3.4 照明制御			—		3.0	0.25	-	-	
4	空気質環境					2.6	0.25	3.3	1.00	3.3
	4.1 発生源対策			—		3.0	0.60	4.0	0.63	
		1	化学汚染物質	内装材はF☆☆☆☆を満たす		3.0	1.00	4.0	1.00	
	4.2 換気					2.0	0.40	2.3	0.38	
		1	換気量	—		3.0	0.50	3.0	0.33	
		2	自然換気性能	—		-	-	3.0	0.33	
		3	取り入れ外気への配慮	—		1.0	0.50	1.0	0.33	
	4.3 運用管理					-	-	-	-	
		1	CO ₂ の監視	—		-	-	-	-	
		2	喫煙の制御	—		-	-	-	-	
Q2 サービス性能						—	0.30	-	-	3.0
1	機能性					2.4	0.40	3.8	1.00	3.6
	1.1 機能性・使いやすさ			—		3.0	0.40	5.0	0.60	
		1	広さ・収納性	—		-	-	-	-	
		2	高度情報通信設備対応	原則ギガビットイーサネットの規格を満足することを最低条件とする		-	-	5.0	1.00	
		3	バリアフリー計画	—		3.0	1.00	-	-	
	1.2 心理性・快適性					1.0	0.30	2.0	0.40	
		1	広さ感・景観	—		-	-	3.0	0.50	
		2	リフレッシュスペース	—		-	-	-	-	
		3	内装計画	—		1.0	1.00	1.0	0.50	
	1.3 維持管理					3.0	0.30	-	-	
		1	維持管理に配慮した設計	—		3.0	0.50	-	-	
		2	維持管理用機能の確保	—		3.0	0.50	-	-	
2	耐用性・信頼性					2.9	0.30	-	-	2.9
	2.1 耐震・免震・制震・制振			—		3.0	0.50	-	-	
		1	耐震性(建物のこわれにくさ)	—		3.0	0.80	-	-	
		2	免震・制震・制振性能	—		3.0	0.20	-	-	
	2.2 部品・部材の耐用年数					3.0	0.30	-	-	
		1	躯体材料の耐用年数	劣化対策等級3取得		5.0	0.20	-	-	
		2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	—		1.0	0.20	-	-	
		3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	—		1.0	0.10	-	-	
		4	空調換気ダクトの更新必要間隔	—		3.0	0.10	-	-	
		5	空調・給排水配管の更新必要間隔	2種類にB以上を使用(VP)、Eは不使用		5.0	0.20	-	-	
		6	主要設備機器の更新必要間隔	—		2.0	0.20	-	-	
	2.4 信頼性					2.6	0.20	-	-	
		1	空調・換気設備	—		3.0	0.20	-	-	
		2	給排水・衛生設備	—		2.0	0.20	-	-	
		3	電気設備	—		3.0	0.20	-	-	
		4	機械・配管支持方法	—		3.0	0.20	-	-	
		5	通信・情報設備	—		2.0	0.20	-	-	

3	対応性・更新性			2.6	0.30	2.3	1.00	2.3
	3.1 空間のゆとり			-	-	1.6	0.50	
	1	階高のゆとり	—	-	-	2.0	0.60	
	2	空間の形状・自由さ	—	-	-	1.0	0.40	
	3.2 荷重のゆとり		—	-	-	3.0	0.50	
	3.3 設備の更新性			2.6	1.00	-	-	
	1	空調配管の更新性	—	3.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性	—	1.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性	—	3.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性	—	3.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性	—	3.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保	—	3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				—	0.30	-	-	2.3
1	生物環境の保全と創出		—	2.0	0.30	-	-	2.0
2	まちなみ・景観への配慮		—	2.0	0.40	-	-	2.0
3	地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上	—	3.0	0.50	-	-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上	—	3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-	-	-	3.3
LR1 エネルギー				—	0.40	-	-	3.6
1	建物外皮の熱負荷抑制		全住戸ZEH-M Orientedの水準を満たす	4.0	0.20	-	-	4.0
2	自然エネルギー利用		—	2.0	0.10	-	-	2.0
3	設備システムの高効率化		全住戸ZEH-M Orientedの水準を満たす	4.1	0.50	-	-	4.1
	集合住宅以外の評価			-	-	-	-	
	集合住宅の評価			4.1	1.00	-	-	
4	効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価			-	-	-	-	
	4.1	モニタリング	—	-	-	-	-	
	4.2	運用管理体制	—	-	-	-	-	
	集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-	
	4.1	モニタリング	—	3.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制	—	3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル				—	0.30	-	-	3.0
1	水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
	1.1	節水	主要水栓、便器は節水仕様とした	4.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無	—	3.0	1.00	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無	—	-	-	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減			2.9	0.60	-	-	2.9
	2.1	材料使用量の削減	—	2.0	0.10	-	-	
	2.2	既存建築躯体等の継続使用	—	3.0	0.20	-	-	
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	—	3.0	0.20	-	-	
	2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	—	3.0	0.20	-	-	
	2.5	持続可能な森林から産出された木材	—	3.0	0.10	-	-	
	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	—	3.0	0.20	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
	3.1	有害物質を含まない材料の使用	—	3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
	1	消火剤	—	-	-	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)	—	3.0	0.50	-	-	
	3	冷媒	—	3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				—	0.30	-	-	3.3
1	地球温暖化への配慮		LCCO2: 74%	4.0	0.33	-	-	4.0
2	地域環境への配慮			2.8	0.33	-	-	2.8
	2.1	大気汚染防止	—	3.0	0.25	-	-	
	2.2	温熱環境悪化の改善	—	3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.2	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減	—	3.0	0.25	-	-	
	2	汚水処理負荷抑制	—	3.0	0.25	-	-	
	3	交通負荷抑制	—	2.0	0.25	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制	—	1.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
	1	騒音	—	3.0	1.00	-	-	
	2	振動	—	-	-	-	-	
	3	悪臭	—	-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
	1	風害の抑制	—	3.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制	—	1.0	-	-	-	
	3	日照阻害の抑制	—	3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	LED設置、広告物照明は行っていない	4.0	0.70	-	-	
	2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	—	3.0	0.30	-	-	

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－					
1.3.1 維持管理に配慮した設計	3.0		－	－	－	－	○	－	－	○	－	○	－	－	－
1.3.2 維持管理用機能の確保	4.0		－	－	－	－	○	－	○	－	－	○	－	○	－
2.4.1 空調・換気設備	－		○	－	－	－	－								
2.4.2 給排水・衛生設備	1.0	1.0	○	－	－	－	－	－	－						
2.4.3 電気設備	1.0	－	－	－	－	○	－	－							
2.4.5 通信・情報設備	1.0		－	－	○	－	－	－							
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	5.0		－	－	2.0	－	1.0	1.0	－	－	1.0	－	－		
2 まちなみ・景観への配慮	2.0		2.0	－	－	－	－	－							
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	2.0		－	－	－	－	1.0	1.0	－	－					
3.2 敷地内温熱環境の向上	8.0		－	1.0	1.0	2.0	－	－	－	2.0	2.0				
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	－		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無			－	－	－	－	－	－	－	－					
2.1 材料使用量の削減	－		－	－	－										
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			－	－	－	－	－								
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	－		－	－	－	－									
3.1 有害物質を含まない材料の使用	－														
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	10.0		－	－	－	3.0	3.0	－	－	1.0	3.0	－			
2.3.3 交通負荷抑制	1.0		－	－	－	1.0	－	－							
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	－		－	－	－	－		－	－						
3.2.2 砂塵の抑制	－		－	－											
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	3.0		1.0	2.0											

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC	0.6	窓の日射熱取得率(η) 0.5			
U値(W/m2K)	窓システム 3.0	屋根 0.5	外壁 0.8	床 3.1	
住戸部分	窓システムU値 3.0	外皮UA値 0.6	η AC 2.7	η AH -	

3.1.1 昼光率

昼光率

4.2.2 自然換気性能

自然換気有効開口面積率

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

執務スペース	/人	病床	/床	シングル	ツイン
--------	----	----	----	------	-----

1.1.2 高度情報通信設備対応

コンセント容量	VA/m ²
---------	-------------------

1.2.1 広さ感・景観

天井高

1.2.2 リフレッシュスペース

リフレッシュスペース	レストスペース
------------	---------

2.2.1 躯体材料の耐用年数

想定耐用年数	60 年
--------	------

2.2.2 外壁仕上材の補修必要間隔

想定必要間隔	年
--------	---

2.2.3 主要内装仕上材の更新必要間隔

想定必要間隔	年
--------	---

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

想定必要間隔	年
--------	---

3.1.1 階高のゆとり

階高	m
----	---

3.1.2 空間の形状・自由さ

壁長さ比率

3.2 荷重のゆとり

床荷重	－ N/m2
-----	--------

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

外構緑化指数	－	建物緑化指数	－
--------	---	--------	---

3.2 敷地内温熱環境の向上

空地率	－	水平投影面積率	－	地表面対策面積率	－	舗装面積率	－
-----	---	---------	---	----------	---	-------	---

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

BPI/BPI _m	－	断熱等性能等級	等級5 相当
----------------------	---	---------	--------

2 自然エネルギー利用

自然エネルギー直接利用量	MJ/年m ²	採光を満たす教室数	採光を満たす住戸数
--------------	--------------------	-----------	-----------

		通風を満たす教室数	通風を満たす住戸数
--	--	-----------	-----------

		太陽光	太陽熱等	蓄電池
--	--	-----	------	-----

3 設備システムの高効率化

非住宅部分

BEI/BEI _m	再エネ有	－	無	－	オフサイト再エネ有	－
----------------------	------	---	---	---	-----------	---

集合住宅の評価

一次エネ削減率	再エネ有	24%	無	24%		－
---------	------	-----	---	-----	--	---

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

雨水利用率

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

特定調達品目	押出法ポリステレ:エコマーク商品	－	自治体指定の特定品目等	－
--------	------------------	---	-------------	---

2.5 持続可能な森林から産出された木材

使用比率

3.2.1 消火剤

オゾン層破壊係数(ODP)	地球温暖化係数(GWP)
---------------	--------------

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

オゾン層破壊係数(ODP)	地球温暖化係数(GWP)
---------------	--------------

3.2.3 冷媒

オゾン層破壊係数(ODP)	地球温暖化係数(GWP)
---------------	--------------

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比	－	隣棟間隔指標Rw	－
-------	---	----------	---

地表面対策面積率	－	屋根面対策面積率	－	外壁面対策面積率	－
----------	---	----------	---	----------	---

見付面積Sb	－	卓越風向と直交する最大敷地幅Ws	－	m	基準高さHb	－	m
--------	---	------------------	---	---	--------	---	---

緑地	－	水面	－	保水性対策面	－	高反射対策面	－	再帰性反射対策面	－
----	---	----	---	--------	---	--------	---	----------	---